

前回定例会（平成 26 年 1 月 8 日）以降の行政の動き

平成 26 年 2 月 5 日
新潟県防災局原子力安全対策課

1. 安全協定に基づく状況確認

1 月 10 日、柏崎市、刈羽村とともに、月例の状況確認を実施しました。

[主な確認内容]

- ・安全対策 1号機フィルタベント基礎工事 現場確認
- ・2号機 セメント固化設備（セメントホッパ、混練機、等） 現場確認

2. 安全管理に関する技術委員会

10 月から福島事故検証課題別ディスカッションを開催しています。課題、コアメンバー及び開催状況は以下の通りです。

（参考）福島事故検証課題別ディスカッションのコアメンバー等

課 題	コ ア メ ン バ ー			開催実績	
地震動による重要機器の影響	田中委員	西川委員	藤澤委員	昨年11/07	1/14
海水注入等の重大事項の意思決定	三上委員	山内委員	吉川委員	昨年11/19	1/31
東京電力の事故対応マネジメント	立石委員	原 委 員	山内委員	昨年11/14	2/4
メルトダウン等の情報発信の在り方	立石委員	原 委 員	山内委員	昨年11/14	2/4
高線量下の作業	杉本委員	立崎委員		昨年11/30	1/18
シビアアクシデント対策	杉本委員	鈴木委員	橋爪委員	昨年10/31	1/25

※ コアメンバー以外の委員にもご参加頂いております。

議論の概要は、事務局で取りまとめたのち公開しています。当日の資料等、詳細につきましては、以下の原子力安全対策課のホームページからご覧になれます。

<http://www.pref.niigata.lg.jp/genshiryoku/1356771524701.html>

3. 東京電力廣瀬社長と知事との面談

1 月 16 日、知事が東京電力廣瀬社長と面談しました。

詳細につきましては、以下のホームページからご覧になれます。

<http://chiji.pref.niigata.jp/2014/01/post-81cb.html>

4. 第 4 回放射性物質の循環に関する実態調査検討委員会を開催しました。

福島第一原発事故により放出された放射性セシウムなどの人工放射性物質による本県への影響（2013 年）について、1 月 30 日の「新潟県放射性物質の循環に関する実態調査検討委員会」で評価いただくとともに、県内で重点的に調査すべき項目を検討しました。

5. 平成 25 年度 新潟県防災会議原子力防災部会を開催しました。

国の防災基本計画の修正及び原子力災害対策指針の改定等を踏まえ、新潟県地域防災計画（原子力災害対策編）を見直すこととし、新潟県防災会議原子力防災部会を開催しました。

新潟県地位防災計画（原子力災害対策編）の修正案について議論いただいたほか、県事務局から原子力防災に備えた新潟県広域避難の行動指針（案）及び新潟県緊急時モニタリング計画（案）について報告しました。

6. その他

1月9日：報道発表[安全管理に関する技術委員会、福島事故検証課題別ディスカッション「地震動による重要機器の影響（第2回）」を下記により開催します。]
別紙参照

1月15日：報道発表〔東京電力の総合特別事業計画変更の認定についての知事コメント〕
別紙参照

1月16日：報道発表[安全管理に関する技術委員会、福島事故検証課題別ディスカッション「高線量下の作業（第2回）」を下記により開催します。]
別紙参照

1月23日：報道発表[安全管理に関する技術委員会、福島事故検証課題別ディスカッション「シビアアクシデント対策（第2回）」を下記により開催します。]
別紙参照

1月24日：報道発表〔第4回放射性物質の循環に関する実態調査検討委員会を開催します〕
別紙参照

1月29日：報道発表[安全管理に関する技術委員会、福島事故検証課題別ディスカッション「海水注入等の重大事項の意思決定（第2回）」を下記により開催します。]
別紙参照

1月29日：報道発表[東京電力柏崎刈羽原子力発電所構内で採取された大気浮遊じん試料から放射性セシウムが検出されたとの連絡がありました]
別紙参照

1月30日：報道発表〔平成25年度 新潟県防災会議原子力防災部会を開催します〕
別紙参照

1月31日：報道発表[安全管理に関する技術委員会、福島事故検証課題別ディスカッション「東京電力の事故対応マネジメント及びメルトダウン等の情報発信の在り方（第2回）」を下記により開催します。]
別紙参照

平成26年1月9日
防災局原子力安全対策課

安全管理に関する技術委員会、福島事故検証課題別ディスカッション
「地震動による重要機器の影響（第2回）」を開催します。

安全管理に関する技術委員会、福島事故検証課題別ディスカッション
「地震動による重要機器の影響（第2回）」を下記により開催します。

記

1. 日時 平成26年1月14日(火) 午後1時30分から午後4時まで
2. 場所 新潟県自治会館401会議室 新潟市中央区新光町4番地1
3. テーマ 1号機非常用復水器（IC）の小破口LOCAの可能性
循環水系の損傷の可能性と発電所への津波到達時刻
4. その他 会議は非公開ですが、頭撮り取材と会合終了後のぶら下がり取材を受け付けます。頭撮り取材は午後1時30分から、ぶら下がり取材は、会合終了後（午後4時頃）上記会場にてそれぞれ行います。カメラ等での撮影は、係員の指示に従ってください。議事録の概要は後日、県のホームページにおいて公開します。
<http://www.pref.niigata.lg.jp/genshiryoku/1356771524701.html>

（参考）福島事故検証課題別ディスカッションのコアメンバー等

課 題	コ ア メ ン バ ー			開催実績	
地震動による重要機器の影響	田中委員	西川委員	藤澤委員	昨年11/07	予定1/14
海水注入等の重大事項の意思決定	三上委員	山内委員	吉川委員	昨年11/19	
東京電力の事故対応マネジメント	立石委員	原 委 員	山内委員	昨年11/14	
メルトダウン等の情報発信の在り方	立石委員	原 委 員	山内委員	昨年11/14	
高線量下の作業	杉本委員	立崎委員		昨年11/30	
シビアアクシデント対策	杉本委員	鈴木委員	橋爪委員	昨年10/31	

※ コアメンバー以外の委員にも参加いただきます。

本件についてのお問い合わせ先
原子力安全対策課課長 須貝
(直通) 025-282-1690 (内線) 6450

東京電力の総合特別事業計画変更の認定についての知事コメント

平成25年12月27日申請の東京電力の総合特別事業計画の変更が、本日政府により認定されました。

計画を入手し、内容を精査したいと考えております。

本件についてのお問い合わせ先

原子力安全対策課長 須貝

(直通) 025-282-1690 (内線) 6450

平成26年1月16日
防災局原子力安全対策課

安全管理に関する技術委員会、福島事故検証課題別ディスカッション
「高線量下の作業（第2回）」を開催します。

安全管理に関する技術委員会、福島事故検証課題別ディスカッション
「高線量下の作業（第2回）」を下記により開催します。

記

1. 日時 平成26年1月18日(土) 午後1時30分から午後4時まで
2. 場所 新潟県庁201会議室 新潟市中央区新光町4番地1
3. テーマ (1) 放射線量の上昇が発電所内外の事故対応・支援活動にどのような影響を与えたのか
(2) 線量限度の違いにより事故対応・事故進展にどのような違いが生じるのか
4. その他 会議は非公開ですが、頭撮り取材と会合終了後のぶら下がり取材を受け付けます。頭撮り取材は午後1時30分から、ぶら下がり取材は、会合終了後（午後4時頃）上記会場にてそれぞれ行います。カメラ等での撮影は、係員の指示に従ってください。議事録の概要は後日、県のホームページにおいて公開します。
<http://www.pref.niigata.lg.jp/genshiryoku/1356771524701.html>

(参考) 福島事故検証課題別ディスカッションのコアメンバー等

課 題	コ ア メ ン バ ー			開催実績	
高線量下の作業	杉本委員	立崎委員		昨年11/30	予定1/18
地震動による重要機器の影響	田中委員	西川委員	藤澤委員	昨年11/07	1/14
海水注入等の重大事項の意思決定	三上委員	山内委員	吉川委員	昨年11/19	
東京電力の事故対応マネジメント	立石委員	原委員	山内委員	昨年11/14	
メルトダウン等の情報発信の在り方	立石委員	原委員	山内委員	昨年11/14	
シビアアクシデント対策	杉本委員	鈴木委員	橋爪委員	昨年10/31	

※ コアメンバー以外の委員にも参加いただきます。

本件についてのお問い合わせ先
原子力安全対策課課長 須貝
(直通) 025-282-1690 (内線) 6450

平成26年1月23日
防災局原子力安全対策課

安全管理に関する技術委員会、福島事故検証課題別ディスカッション
「シビアアクシデント対策（第2回）」を開催します。

安全管理に関する技術委員会、福島事故検証課題別ディスカッション
「シビアアクシデント対策（第2回）」を下記により開催します。

記

1. 日 時 平成26年1月25日(土) 午後1時30分から午後4時まで
2. 場 所 新潟県庁201会議室 新潟市中央区新光町4番地1
3. テーマ (1) 格納容器ベントの作業の問題点はどこにあったのか。
(2) 消防車による代替注水は有効であったのか。
(3) 事故データについて確認が必要ではないか。
(4) 原子炉や水素爆発等の状況はどうなっているのか。
(5) 海外のシビアアクシデント対策はどうなっているのか。他
4. その他 会議は非公開ですが、頭撮り取材と会合終了後のぶら下がり取材を受け付けます。頭撮り取材は午後1時30分から、ぶら下がり取材は、会合終了後（午後4時頃）上記会場にてそれぞれ行います。カメラ等での撮影は、係員の指示に従ってください。議事録の概要は後日、県のホームページにおいて公開します。
<http://www.pref.niigata.lg.jp/genshiryoku/1356771524701.html>

(参考) 福島事故検証課題別ディスカッションのコアメンバー等

課 題	コ ア メ ン バ ー			開催実績	
シビアアクシデント対策	杉本委員	鈴木委員	橋爪委員	昨年10/31	予定1/25
地震動による重要機器の影響	田中委員	西川委員	藤澤委員	昨年11/07	1/14
海水注入等の重大事項の意思決定	三上委員	山内委員	吉川委員	昨年11/19	
東京電力の事故対応マネジメント	立石委員	原委員	山内委員	昨年11/14	
メルトダウン等の情報発信の在り方	立石委員	原委員	山内委員	昨年11/14	
高線量下の作業	杉本委員	立崎委員		昨年11/30	1/18

※ コアメンバー以外の委員にも参加いただきます。

本件についてのお問い合わせ先
原子力安全対策課課長 須貝
(直通) 025-282-1690 (内線) 6450

新潟県放射性物質の循環に関する 実態調査検討委員会

県では、福島第一原発事故により放出された放射性セシウムなどの人工放射性物質による本県への影響を、より体系的に調査するため、放射能、医学、農学、情報発信などの専門家からなる「新潟県放射性物質の循環に関する実態調査検討委員会」を立ち上げ、県内で重点的に調査すべき項目を検討しています。

2013年の調査結果の評価と委員から各専門の立場から報告をいただきます。

プログラム

第1部 新潟県放射性物質の循環に関する 実態調査検討委員会

14:00 開会あいさつ

14:05～14:45 調査結果の評価

福島第一原子力発電所事故に伴う新潟県内の放射線等の監視結果(2013年版)

第2部 委員報告

14:45～16:00 (各15分)

- 1 今泉 洋 氏
(新潟大学工学部教授)
「トリチウム及び放射性セシウムから見た福島第一原発事故による影響」
- 2 村松 康行 氏
(学習院大学理学部教授)
「土壌中のヨウ素129 の分析より求めたヨウ素131沈着量のマップ」
- 3 細井 義夫 氏
(東北大学大学院医学系研究科放射線生物学分野教授)
「事故初期の放射性ヨウ素による内部被ばくと甲状腺癌の発症状況」
- 4 田上 恵子 氏
(独)放射線医学総合研究所主任研究員)
「食用野草等への放射性セシウムの移行」
- 5 椎谷 照美 氏
(新潟市新津「育ちの森」館長)
「子育て支援の現場からみえてくる放射能の不安から自主避難している母親たちの現状」

日時

2014年1月30日(木)
14:00～16:00

会場

(株)興和ビル10階第5会議室
(新潟市中央区新光町6番地1)



一般公開

先着20名

事前申込不要・参加無料

当日13:30～14:00 受付



NIIGATA
PREFECTURE

平成26年1月29日
防災局原子力安全対策課

安全管理に関する技術委員会、福島事故検証課題別ディスカッション
「海水注入等の重大事項の意思決定（第2回）」を開催します。

安全管理に関する技術委員会、福島事故検証課題別ディスカッション
「海水注入等の重大事項の意思決定（第2回）」を下記により開催します。

記

1. 日時 平成26年1月31日（金） 午後1時30分から午後4時まで
2. 場所 自治会館本館4階 401会議室 新潟市中央区新光町4番地1
3. テーマ (1) 海水注入の意思決定に問題はなかったのか
(2) ベントの意思決定に問題はなかったのか
(3) 非常用復水器（IC）の操作等は適切であったのか
4. その他 会議は非公開ですが、頭撮り取材と会合終了後のぶら下がり取材を受け付けます。頭撮り取材は午後1時30分から、ぶら下がり取材は、会合終了後（午後4時頃）上記会場にてそれぞれ行います。カメラ等での撮影は、係員の指示に従ってください。議事録の概要は後日、県のホームページにおいて公開します。
<http://www.pref.niigata.lg.jp/genshiryoku/1356771524701.html>

(参考) 福島事故検証課題別ディスカッションのコアメンバー等

課 題	コ ア メ ン バ ー			開催実績	
海水注入等の重大事項の意思決定	三上委員	山内委員	吉川委員	昨年11/19	
地震動による重要機器の影響	田中委員	西川委員	藤澤委員	昨年11/07	1/14
東京電力の事故対応マネジメント	立石委員	原委員	山内委員	昨年11/14	
メルトダウン等の情報発信の在り方	立石委員	原委員	山内委員	昨年11/14	
高線量下の作業	杉本委員	立崎委員		昨年11/30	1/18
シビアアクシデント対策	杉本委員	鈴木委員	橋爪委員	昨年10/31	1/25

※ コアメンバー以外の委員にも参加いただきます。

本件についてのお問い合わせ先
原子力安全対策課課長 須貝
(直通) 025-282-1690 (内線) 6450

平成26年1月30日
防災局原子力安全対策課

平成25年度 新潟県防災会議原子力防災部会を開催します

新潟県では、県民等の生命、身体及び財産を原子力災害から保護するため、国の防災基本計画の修正及び原子力災害対策指針の改定等を踏まえ、新潟県地域防災計画（原子力災害対策編）を見直すこととし、下記のとおり、飯沼危機管理監を部会長とする新潟県防災会議原子力防災部会を開催します。

記

- 1 開催日時 平成26年2月3日（月）
午後2時から午後4時まで
- 2 場所 新潟市中央区新光町6-1
興和ビル 10階 第5会議室
- 3 内容 (1) 議事
新潟県地域防災計画（原子力災害対策編）の修正について
(2) 報告
ア 原子力災害に備えた新潟県広域避難の行動指針（案）について
イ 新潟県緊急時モニタリング計画（案）について
- 4 会議の公開 会議は公開で行い、一般の傍聴者の定員は20名（先着順）です。
また、会場には、別途、記者席を設けます。
- 5 取材の受付 会議の取材を希望する方は、所属する報道機関の発行する腕章がある場合はそれを持参し、会議開始前に会場の受付で所属名、職名及び氏名を記入してから入場してください。所属する報道機関の発行する腕章がない場合は、受付で報道関係者腕章の交付が受けられます。
なお、取材の受付は、当日の午後1時30分からです。また、カメラ等での撮影は、係員の指示に従ってください。

本件についてのお問い合わせ先
原子力安全対策課 須貝
(直通) 025-282-1690
(内線) 6450

平成26年1月31日
防災局原子力安全対策課

安全管理に関する技術委員会、福島事故検証課題別ディスカッション「東京電力の事故対応マネジメント（第2回）」及び「メルトダウン等の情報発信の在り方（第2回）」を合同で開催します。

安全管理に関する技術委員会における福島事故検証課題別ディスカッションの「東京電力の事故対応マネジメント（第2回）」及び「メルトダウン等の情報発信の在り方（第2回）」を下記により開催します。

記

1. 日 時 平成26年2月4日(火) 午後1時30分から午後4時30分まで
2. 場 所 自治労会館603会議室（新潟市中央区新光町6-7）
3. テーマ (1)判断や指示の指揮系統は機能していたのか
(2)情報発信に問題があったのではないかなど
4. その他 会議は非公開ですが、頭撮り取材と会合終了後のぶら下がり取材を受け付けます。頭撮り取材は午後1時30分から、ぶら下がり取材は、会合終了後（午後4時30分頃）上記会場にてそれぞれ行います。カメラ等での撮影は、係員の指示に従ってください。議事録の概要は後日、県のホームページにおいて公開します。
<http://www.pref.niigata.lg.jp/genshiryoku/1356771524701.htm>

（参考）福島事故検証課題別ディスカッションのコアメンバー等

課 題	コ ア メ ン バ ー			開催実績	
東京電力の事故対応マネジメント	立石委員	原 委 員	山内委員	昨年11/14	予定2/4
メルトダウン等の情報発信の在り方	立石委員	原 委 員	山内委員	昨年11/14	予定2/4
地震動による重要機器の影響	田中委員	西川委員	藤澤委員	昨年11/07	1/14
海水注入等の重大事項の意思決定	三上委員	山内委員	吉川委員	昨年11/19	1/31
高線量下の作業	杉本委員	立崎委員		昨年11/30	1/18
シビアアクシデント対策	杉本委員	鈴木委員	橋爪委員	昨年10/31	1/25

※ コアメンバー以外の委員にも参加いただきます。

本件についてのお問い合わせ先
原子力安全対策課課長 須貝
(直通) 025-282-1690 (内線) 6450

平成 26 年 1 月 27 日

原子力規制委員会
委員長 田中 俊一 様

新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会
座長 中島 健
同委員会事務局
新潟県防災局原子力安全対策課長 須貝 幸子

新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会への出席について（依頼）

新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会に関しましては、日頃から格別の御協力をいただき感謝申し上げます。

当委員会は、新潟県知事の要請を受け、平成24年度から福島第一原子力発電所事故の検証を進めております。本年度からは議論を更に深めるため、福島事故検証課題別ディスカッションという新たな仕組みも設けて検証を進めているところです。

つきましては、検証の議論のなかで、貴委員会と意見交換をさせていただきたいので、当委員会やディスカッションへの担当者の出席について特段のご配慮をお願いいたします。

なお、当委員会や福島事故検証課題別ディスカッションの出席については、改めてお願いをさせていただきます。

（参考）福島事故検証課題別ディスカッションについて

検証作業を効率的に行うため小人数の委員による議論を行っている。

現在 6 つの課題がある。

課題 1 地震動による重要機器の影響

課題 2 海水注入等の重大事項の意思決定

課題 3 東京電力の事故対応マネジメント

課題 4 メルトダウン等の情報発信の在り方

課題 5 高線量下の作業

課題 6 シビアアクシデント対策

平成 26 年 1 月 27 日

原子力規制委員会
委員長 田中 俊一 様

新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会事務局
新潟県防災局原子力安全対策課長 須貝 幸子

新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会への出席について（依頼）

新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会に関しましては、日頃から格別の御協力をいただき感謝申し上げます。

安全管理に関する技術委員会及び福島事故検証課題別ディスカッションを下記のとおり開催し、福島第一原子力発電所事故の検証を行う予定としております。

つきましては、検証の議論のなかで、貴委員会と意見交換をさせていただきたいので、担当者の出席について特段のご配慮をお願いいたします。

記

- 新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会 : 2月11日（火）

- 福島事故検証課題別ディスカッション
 - ・ 課題 2 海水注入等の重大事項の意思決定 : 1月31日（金）
 - ・ 課題 3 東京電力の事故対応マネジメント : 2月4日（火）
 - ・ 課題 4 メルトダウン等の情報発信の在り方 : 2月4日（火）

平成26年2月4日
防災局原子力安全対策課

新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会を開催します。

新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会（平成25年度第4回）を下記のとおり開催します。

なお、開催にあたり、別紙のとおり原子力規制委員会へ出席を依頼しています。

記

1 開催日時

平成26年2月11日(火)

午後1時30分から午後4時30分まで

2 場所

新潟市中央区新光町4番地1

新潟県庁西回廊2階「講堂」

3 議事

- (1) 福島第一原子力発電所事故の検証について
- (2) フィルタベント設備の検証について
- (3) その他

4 会議の公開

会議は公開で行い、一般の傍聴者の定員は50名（先着順）です。

また、会場には、別途、記者席を設けます。

5 取材の受付

会議の取材を希望する方は、所属する報道機関の発行する腕章がある場合はそれを持参し、会議開始前に会場の受付で所属名、職名及び氏名を記入してから入場してください。所属する報道機関の発行する腕章がない場合は、受付で報道関係者腕章の交付が受けられます。

なお、取材の受付は、当日の午後1時00分からです。また、カメラ等での撮影は、係員の指示に従ってください。

本件についてのお問い合わせ先
原子力安全対策課 課長 須貝
(直通) 025-282-1690 (内線) 6450